

第71回 構造工学シンポジウム

主催：日本学術会議 土木工学・建築学委員会
共催：日本建築学会，土木学会

本シンポジウムは、『構造工学論文集 Vol.71』の掲載論文を中心としたシンポジウムを開催することによって、産・官・学、各界の研究者・技術者に学术交流・技術交流の場を提供し、構造工学の一層の発展を目的としたものです。建築部門と土木部門それぞれの論文投稿者による発表のほか、特別講演および建築・土木合同のパネルディスカッションを実施します。

会期——2025 年 4 月 12 日(土)～13 日(日)

会場——東京科学大学大岡山キャンパス西 9 号館

※開催方法、会場の変更等は構造工学論文集編集小委員会 Web ページにてお知らせいたします。随時ご確認ください。

参加費——無料

論文集——『構造工学論文集 Vol.71A』(土木)、『構造工学論文集 Vol.71B』(建築)は、2025 年 4 月上旬に J-STAGE で発行・無料公開する予定です。
※冊子の論文集は作成いたしません。

掲載討議方式実施のお知らせ

『構造工学論文集 B』(建築)では、掲載討議方式を実施しています。会場での討議に加えて書面による討議を実施し、その内容を次年度の論文集に掲載します。これにより、シンポジウムに参加できない読者にも討議の機会が与えられるとともに、討議内容が公表、記録されることになります。討議実施要領ならびに討議文書様式は、論文集に掲載いたします。

●特別講演会・パネルディスカッション

会期——2025 年 4 月 12 日(土) 15:00～17:45

会場——東京科学大学大岡山キャンパス西 9 号館

1. 開会式 15:00～15:10

挨拶：竹内 徹（日本学術会議土木工学・建築学委員会／東京科学大学）

佐々木葉（日本学術会議土木工学・建築学委員会／早稲田大学）

司会：深田幸史（金沢大学）

2. 特別講演会 15:10～16:10

「BIM/CIM, レーザ計測および IoT によるデジタルツインを用いた土木・建築構造物の維持管理」

講師：矢吹信喜（大阪大学）

司会：深田幸史（同上）

3. 建築・土木合同パネルディスカッション 16:15～17:45

「DX社会に貢献する構造工学」

構造工学シンポジウムでは、主として土木構造・建築構造物に関わる全ての工学技術について、目的・方法・結論等の明記された、理論的または実証的な研究論文、あるいは新しい知見を含み学術的に価値の高い、特色のある資料・調査・計画・実験・施工等、構造工学の発展に寄与すると考えられる論文の募集を行う。査読を通過した論文の発表講演に加え、特別講演とパネルディスカッションを行う。

第 71 回目となる今回は、「DX 社会に貢献する構造工学」をテーマとして、DX 社会における構造工学分野の技術開発や取組に焦点を当てた特別講演、パネルディスカッションを行う。働き手の高齢化、深刻な人手不足の状況下において、年間労働時間の制約の中で、業務の効率化や生産性の向上には、BIM/CIM、AI、ICT、IoT などのデジタル技術の活用が期待されている。構造工学分野へのデジタル技術の活用について理解するとともに、今後さらに、構造工学分野がどのように DX 社会で貢献できるのか、その未来像を考える場としたい。

司 会：玉井宏樹（九州大学）
西村康志郎（東京科学大学）

主旨説明：

深田幸史（前掲）

パネリストおよび講演：

「3次元解析の最先端」

全 邦釘（東京大学）

「施工現場における DX 推進の現状と課題」

元村亜紀（株式会社大林組）

「DXで広がる構造設計の未来」

貞許美和（株式会社日建設計）

「AI技術を活用した強震動予測技術」

三浦弘之（広島大学）

●建築部門発表講演

会期——2025 年 4 月 12 日(土) 10:30～14:45

13 日(日) 10:00～12:30

会場——東京科学大学大岡山キャンパス西 9 号館

●土木部門発表講演

会期——2025 年 4 月 12 日(土) 9:00～14:45

13 日(日) 9:15～12:30

会場——東京科学大学大岡山キャンパス西 9 号館

●シンポジウムプログラム

各学会のシンポジウムプログラムは、以下の Web ページにて公開予定です。随時更新いたしますので、最新版をご確認ください。

日本建築学会 構造工学論文集編集小委員会

<http://news-sv.aij.or.jp/kouzou/s11/>

土木学会 構造工学論文集編集小委員会

<https://www.jsce.or.jp/committee/struct/journal/>